

世界最先端を走る 理科学、産業、宇宙用レーザー

OPCPA

タレス社のレーザーと言えば「高出力固体パルスレーザー」が良く知られているが、最近中赤外のOPCPAの開発を行っていることは知らない人も多いかもしれない。このプロジェクトはスペインの研究機関と共同で行われており、ファイバレーザーを使って、最終的に2 μ m、40mJ、10psの励起レーザーを作り、7 μ m、mJクラスのレーザーを開発しようと言うものである。完成した際には理想的なアト秒パルス発生や軟X線の発生源としての利用が期待されている。

固体レーザー

長年の実績がある固体レーザーの分野では新製品として532nm/10~20kHz / 平均出力300Wのパルスレーザーや、薄ディスクを利用した515nm / 100mJ / 1kHzといった高エネルギーの製品を開発中である。



世界の最先端レーザープロジェクトに 参画

タレス社のレーザーは世界各地の研究プロジェクトにて採用されているが、中でも現在開発中のELI-NP(ルーマニア)用の10ペタワットレーザー×2ラインや、スコットランドでのプラズマ加速用350TWレーザーなどは今後注目されていくプロジェクトになる予定である。

また、2014年に火星に着陸し、物質分析に多大な貢献をしたタレス社製ダイオード励起固体レーザー、CHEMCAMの実績を買われ、2020年打ち上げ予定のNASAの火星探査衛星にも同社製のレーザー、SUPERCAMが搭載されることとなっている。

タレスオプトロニクス事業部門

オプトロニクス事業部門の中心はパリ郊外にあり、1000人以上の従業員を有する研究開発主体の部門である。レーザー発振器の他、赤外線カメラ、高性能ズームレンズ、X線用集光ミラー、小型冷凍機などを製造する事業部門

を抱えている。また敷地のそばにはタレス中央研究所があり、様々な研究機関との共同研究等も行われている。

日本法人の役割

タレスジャパン(株)は、フランス、パリに本社を置く電機メーカー、タレスグループの日本法人。同グループは宇宙航空、防衛、セキュリティや交通システムビジネスに従事する複合企業であり、世界56カ国に約6万1000人の従業員を擁し、人々の安全や社会基盤の発展に貢献することを会社の使命としている。

日本国内においても、40年以上の販売実績を有し、日本の顧客の要求に対応する製品・サービスを提供してきている。現在取り扱っている製品群はレーザー、宇宙・天文・X線用光学部品、小型冷凍機など光学関連の他、鉄道信号システム、フライトエンタテインメントシステム、セキュリティ用暗号化システム、医療用コンポーネント、防衛用システムなど多岐に渡る。

Contact information

タレスジャパン株式会社
107-0052 東京都港区赤坂2-17-7
赤坂溜池タワー 8F

phone: 03-6234-8150
fax: 03-6234-8101
email: thales.japan@asia.thalesgroup.com
web: www.thales-laser.com